婦選獲得同盟會報第四號

婦選

第四次總會の記

▽報告

本會の第四次總會は、四月廿四日(日)本郷文化アパートメントに於て開かれた。

出席者三十六名數は多きにあらねど、廣島、新潟濱松よりの來會者をも含む熱心なる同志の集りであつた。

午前十時半、司會者田房あい氏の開會の辭に次いて總務理事久布白落實氏、一ケ年の過去を顧みて、會の歩みを語り續いて各種の報告に移る。(別項參照)

▽規約の改正

十一時半、報告を終り、直ちに議事に入り、久布白氏議長席につく。

先づ中央委員會提出の規約の改正につき市川房枝氏より說明あり。

1、正會員會費値上
2、會費納期變更
3、會友及贊助員制度設置
4、地方支部單位變更

の各項を全部可決す(改正規約參照)

次で第十號案を上し、提案者竹内茂代氏より『獲得の二字を除きたし』と說明ありしも、遂に否決となる。

次は議事進行上、第四號案より第八號案までを上程する事となり、第四號案は坂本氏に代つて久布白氏、第五號案は鹽原靜、第六號案は荻原眞、第七號は河崎夏子第八號案金子茂の諸氏より、逐次說明の後、全部を委員附託として、晝餐に移る。

▽委員會

食後の時間を利用して、議長指名の左記の委員會が組織され直ちに委員會を開く。

1、四號案(七名) 委員長 塚本はま
2、五號案(七名) 委員長 鷲尾いく
3、六號案及八號案(七名) 委員長 山川房子
4、七號案(七名) 委員長 秋山花子

▽協議

午後二時再開まづ、二號案及三號案を一括上程、金子氏より說明あり、何れも即決可決、但し、二號案の人選及費用の點は中央委員會にゆづる事として。

次いで各委員長より、委員會の報告をなす。

まづ第四號案、政治教育の方針を指導者養成と、一般教育の二方面に大別し、前者には、時事問題に對する研究批判を、後者には割込講演などにより、婦人會、處女會、專門學校生、女學校同窓會等に漸次普及の事を必要とする旨說明あり、これにポスターその他の宣傳方面をも考究實行する旨の修正案を加へて可決す。

第五號案、來年度の總選擧對策については、本會の實力を示すを眼目として、各政黨及、各代議士の政綱に婦人參政權を附加へさせる事と、贊成代議士の多數當選を計るべく應援演說、推薦狀の發送をもなす事、從つて候補者の調査をなす事、などの原案を異議なく可決す。

六號及八號案については、支部設置及、一般募集の二方面につき、種々具體的方法の說明あり支部規約の改正は中央委員會に托して可決。

第七號案は、二年度豫算を基礎とするを便とし先づ、九號案即ち豫算を上程する事となり、田中氏より說明あり。非常に膨脹せるは、本年度より各委員會の豫算を個々に計上せる爲なりとの說明あり、削減の修正案出でしも、理想案と見做し、收入の不足は、運動費の削減にて均衡を取る事として可決。

財務は右豫算に基き、經常費は會費の收納に努力して充て、運動費は募金を以て、充つる方針にて活動寫眞等の大募金と、書籍取次販賣などの方法の他に、一月一度を婦選デーとして各人共日の收入の幾割を寄附する案も出で、切符等はなるべく高額ならぬ樣希望の申出多くこれを容れて大體の方針を可決。かくて一切の議事を終る、正に三時半。

▽役員選擧

續いて役員選擧に移り、同準備委員會の秋山花子氏より婦選の報告あり、投票の結果左記十五氏が選出せられた。

久布白落實、市川房枝、荻原眞、田中芳子、竹内茂代、八木橋きい、鹽原靜、金子茂、井上たみ、大妻コタカ、鷲尾幾子、岡田京、坂本眞琴、秋山花子、田房あい、

▽懇談

終つて茶菓を運び、懇談のまとひに入り。まづ遠來の小出(新潟)佐藤(濱松)岡野(廣島)の諸氏を初めとして、各自一言つゝの感想を述べ今後の奮闘を期して四時半閉會した。

婦選獲得同盟 第四年年次總會プログラム

一、開會の辭　司會者 田房あい
二、挨拶　總務理事 久布白落實
三、報告
1、會務報告　會務理事 市川房枝
2、會計報告　會計理事 田中芳子
3、議會運動委員會報告　委員長 鹽原靜
4、政治教育委員會報告　委員長 久布白落實
5、出版委員會報告　委員長 市川房枝
6、財務委員會報告　委員長 竹内茂代
7、會員委員會報告　委員長 八木橋きい
四、議事
第一號議案　規約改正の件(中央委員會提出)　說明者 市川房枝
第二號議案　汎太平洋婦人大會に代表者派遣の件(中央委員會提出)　說明者 金子茂
第三號議案　國際婦人參政權協會に加入の件(中央委員會提出)　說明者 金子茂
第四號議案　會員及一般婦人に對する政治教育普及の方法如何(政治教育委員會提出)　說明者 坂本眞琴
第五號議案　來るべき總選擧に對する態度如何(議會運動委員會提出)　說明者 鹽原靜
第六號議案　會員增加の方法如何(會員委員會提出)　說明者 荻原眞
第七號議案　運動資金調達の方法如何(財務委員會提出)　說明者 河崎夏子
第八號議案　『婦選』購讀者增加方法について(出版委員會提出)　說明者 金子茂
第九號議案　昭和二年度豫算について(財務委員會提出)　說明者 田中芳子
第十號議案　會名改稱の件　說明者 竹内茂代
五、役員の改選
六、懇談(茶菓)
七、閉會の辭　司會者 田房あい

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會務及委員會報告

◎中央委員會報告

總務理事　久布白落實

◇

大正拾五年四月初から、昭和二年三月末旬まで一ケ年間の、中央委員會開會度數は、都合廿六回で、出席人員は委員等を加へて延數二百名平均一回七人七分に當つて居ます。其中に病死歸國等の事故の爲め、殆んど出席不可能の方が三名程有りました。然し其他は大體に於て可なりよい出席率で、廿回以上の人々が六名十回以上の人が四名と云つた工合です。たゞ補欠に際して容易に承諾なき爲めに、人選に手間取るや、病氣結婚等の爲め途中で變更するのや、其間前後の樣子を見て手が減する事で充分安全に十五名づゝ勢を揃へることが困難な譯です。この點を見ても起つて働く人が如何に缺乏して居るかを痛感する譯です。

◇

一ケ年の重要な仕事は左の件です

一、政治教育の連續講演、臨時講演地方講演、
一、政治讀本の發刊（實業之日本社より）
一、會員倍加運動
一、財務部の觀劇會及販賣
一、創立記念懇談會
一、有給幹事の就任
一、婦選機關紙の發行
一、議會運動の聯合
一、對議會運動

以上は動きの重もなるものです。全世界の動きを見て、我國の運動の遲々たるを思ひます。然し一歩々々確實にふみしめて進む時、終ひに全山綠たる日を迎ふるを信じて疑ひませぬ。

◎會務報告

會務理事　市川房枝

會務理事の更迭

第二回總會後十月迄は坂本眞琴氏が會務理事として就任されて居りましたので、私は其後をお受けしたのでした。

幹事及書記

書記としては吉田のぶ氏が引續き執務して下さいましたが、尙會務の進捗をはかる爲め、專任幹事を置くことになり、十二月一日から中央委員金子茂氏が幹事として毎日半日位づゝ執務されることになりました。

書信の往來

大正十五年四月一日以後昭和二年三月三十一日迄の一ケ年間に於ける發信數は七千二百三十一通、受信數は七百八十六通で御座いました。

事務所の移轉

會の發展上事務所の位置をも少し中央にし、會員出入の便宜其他の點から會の負擔をあまり重くしない範圍内で獨立した一戸を借り入れることに三月の中央委員會で決定し、總會後なるべく早く移轉しやうといふことになりました。

因に本年は議會運動のため臨時事務所を設けませんでした。

◎政治教育委員會報告

委員長　久布白落實

▼議會季節以外に於て、最も其必要を認めらるゝものは、政治教育です。然し委員長を得る爲めに困難しました。第一期丈け、荻野好子氏を委員長として其間に試みられた事は第一に大山郁夫氏を聘して政治と、共進展に對する二回連續の講演會を開いた事でした。

▼次に試みられた事は、夏期に於て外に向つての試みで、一、女子青年會夏期講習の際　一、國民婦人會夏期大學の際　一、婦女新聞夏期講習會の際　一、大妻高等女學校に於いて等各會に於ける集會に時を得て、婦人參政權に關する講演を持ち込んだ事です。

▼地方講演としては、坂本女史の信州各地に於ける講演、金子、鹽原兩女史の豐橋に於ける講演、久布白女史の四國高知に於て、市川女史關西に於て、等其他所々に大小の集會が催されました。

▼一般に對する運動としては、議會開催中一回『無產政黨と婦人』と題して神田美土代町青年會館に於て、目下成立せし四つの無產政黨より辯士を得て一般講演會を開きました。

▼大會當時よりの目標であつた、政治讀本の發行は今年の政事教育に於て特筆すべき事です。昨年中一ケ年間連續講演として聽きし國政一般に關する田川大吉郎氏のものを一冊として全國婦人に提供する運びになりました。幸にして實業之日本社は其凡べての責に任ぜられ、私共は唯其の配付宣傳につとめて居ます。然し創立以來試みし政事教育に關する一步でも進み得し事は喜びと申されませう。今後此種の書の續出、ことに婦人の手によつて成るものゝ續出を祈つて止みませぬ。

◎議會運動委員會報告

委員長　鹽原靜

委員　久布白落實、井上たみ、鷲尾いく、河瀨けさ、藤間あさよ

▼總會後より十一月迄は委員會內部にて、提出の案其他につき研究をなし、外部的には運動はなさず。坂本眞琴氏委員を辭される。

▼實際運動は十二月廿四日、松本君平代議士よりの招待會に端を發し、一月十日文化アパートメントに於て各婦選運動團體は議會中だけ共同戰線を張る事に決す。

▼一月廿日の議員招待會は、議會停會の日に際會し、成績擧らず。これより後各婦選團體は、隔日に議會面會室に集り、午後より夕刻まで議員の面會、提出に關する協議等をなす

▼二月十日松本代議士より參政權法律案につき「勅令云々」の條件附加の申出あり、ために婦選團體內に意見の相異を生じ、女子參政協會は脫退し、松本代議士は提出者より脫せらる。

▼二月十五日參政權法律案は、各派の提出者と、六十七名の贊成者により提出さる。

▼二月十七日政治結社法律案は各派の提出者と九十四名の贊成者により提出さる。

▼二月廿四日公民權法律案は各派の提出者と七十貳名の贊成者により提出さる。

▼公民權案の說明者として原案起草中なりし山口政二代議士は二月廿四日議院內にて、突然卒倒逝去さる。眞に婦選運動に理解ある氏を失ひ、痛惜に耐へず。

▼三月十七日婦選法案上程、「結社」は山桝代議士により「參政權」「公民權」は坂東代議士により說明され、同一委員會に附託さる。

▼三月廿四日議會閉會につき、議員諸氏の勞を謝する爲に招待茶話會をなすも、政友會對淸瀨代議士の混亂事件に際會、來會者少數、此の日遲く、山桝代議士の努力により「結社」は委員會を通過す。參政權、公民權、は遂に審議未了の儘に終る。

▼四月五日、文化アパートメントに各婦人團體幹部と女子教育家を招き

同盟日誌抄

大正十五年

▼四月二日(金)　夜中央委員會開催
▼四月十日(土)　夜中央委員會開催
▼四月十六日(金)　夜政治教育委員會及中央委員會開催
▼四月廿一日(水)　中央委員會開催
▼四月廿四日(水)　夜臨時委員會開催
▼四月廿五日(日)　第三回總會を麴町東京家政學院に於いて開催
▼四月廿九日(木)　中央委員會開催
▼五月七日(金)　夜中央委員會開催
▼五月十四日(金)　夜中央委員會開催
▼五月廿一日(金)　夜中央委員會開催
▼五月廿四日(月)　夜議會運動委員會開催
▼五月廿五日(火)　夜政教委員會開催
▼五月廿七日(水)　夜理事會開催
▼五月二十八日(金)　夜會員委員會開催
▼六月一日(火)　夜政教委員會開催
▼六月四日(金)　夜財務委員會開催
▼六月七日(月)　夜議會運動委員會開催
▼六月十八日(金)　夜中央委員會開催
▼六月廿二日(火)　夜中央委員會開催
▼六月廿三日(水)　金子鹽原豐橋講演會に出席
▼六月二十九日(月)　中央委員潮田延子氏腸チブスにて死去
▼七月四日(日)朝築地本願寺に於ける潮田氏葬儀に中央委員參列
▼七月十二日(日)夜政治講座開催大山郁夫氏の講演をきく
▼七月十四日(水)　夜政治講座開催大山郁夫氏の講演をきく
▼七月十六日(金)　夜中央委員會開催
▼七月十八日(日)　婦人會館にて故潮田氏の追悼會開催、臨時中央委員會開催
▼七月三十日(金)　久布白氏國民新聞夏期大會にて講演
▼八月四日(水)　婦女新聞社主催家事講習會に於て田中氏講演
▼九月十日(金)　夜中央委員會開催
▼九月十八日(土)　夜中央委員會開催
▼九月二十七日(月)　夜中央委員會開催
▼九月三十日(木)　夜中央委員會開催
▼十月三日(日)　夜中央委員會開催
▼十月五日(火)　夜中央委員會開催

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

年度議會運動の報告會を開く。代議士としては加藤、山桝、岩切、土屋、坂東の諸氏が出席された。詳細は機關紙婦選誌上にあり、再讀を望む。

議會委員　豐原靜、岡田京、北澤たま木村田賞

◎會員委員會報告

委員長　八木橋きい

會員委員會は、大正十五年三月の總會以來委員長宿利梅子氏病氣歸國の爲め欠席にて、殆ど委員會を開くあたわず、休會の形にて送り、一月より八木橋其後を引受ける。

會員委員會の働きとしては、同年十二月十三日夜創立紀念の懇談會を麹町の家政學院に開く。會員同志極內輪に。然し其の十三日より二十日迄で一週間會員倍加週間として、各員各自、少くも一人を必ず會員を作る事に決議して、運動を開始す。尤も中央委員は一人にて普通會員十人維持會員一人づゝとして、其結果一週間內に正會員五十一名、維持會員十二名、會計六十三名の申込みあり但し其週間の勸めの結果として、更に普通會員二十名、維持會員三十名の申込みを得た。

倍加週間以前には約四百名位であつた會員が百名以上を增加したるにも拘らず、現在數普通會員三百十名維持會員四十三名（本年三月末の調査による）と云ふ事は、幽靈會員の整理の結果と思召して頂き度、即ち只今の會員數は、心からなる私達の味方、否鞭達者であると云ふ事が出來る。以上

會員委員　八木橋きい、山川房子、鈴野ふく、根本ふみ、大橋英子

◎出版委員會委告

委員長　市川房枝

委員及委員長の更迭

第二回總會後に於ける出版委員會は潮留延子氏、金子茂氏、市川房枝によつて組織されてゐたが、潮留氏の逝去及其他の事情によつて、六月坂本眞琴、田中芳子、田房あいの諸氏がこれにかはつた。

然して總會に於ける決議を實行する爲月刊雜誌「婦選」の發行準備にとりかゝり、十月に其の第一號を刊行する段取りになつてゐたが、十月にいたつて坂本氏が突然出版委員長を辭した爲「婦選」の發行を中止するの已むなきにいたつた。

然しながら「婦選」は是非とも一月から發行したいとの中央委員會の決議により、金子茂、田中芳子、田房あい、大平悅子、關澤章子、柳八重子、吉田のぶ子の諸氏を委員とし市川委員長として、これにあたることゝなつた。

『婦選』の發行

かくてかなり早急ではあつたが、新年號は菊倍版十二頁一部五錢として編輯發刊した。第二號以降は八頁の豫定であつたが中央委員會の希望により、第二、三號も十二頁にした爲、賣價が實費よりも安いといふ現象になつた。

印刷部數は二千二百部乃至三千部で其內賣上部數は約千五百部乃至二千部である。販賣方法は現在迄は書店には出さず直接販賣の方法をとつてゐる。

編輯並に事務は小雜誌ながら可成煩雜であるが有給專任者を置かず、電車代を支出する位で出版委員中の數名の手によつてして來た。

然し印刷費其他の費用の支出のため、三月末日の決算に於て二百六拾四圓二十一錢の缺損を示してゐる。尤も廣告料及誌代の未納も多少あるから實際の缺損は相當に減少する。

パンフレットの發行

昨年中にはパンフレット第二號を發行しただけであつた。

◎財務委員會報告

委員長　竹內茂代

（一）天笠晒販賣について

大正十五年度の財源を得可く淺田みか子氏の紹介で、名古屋の八木商店（製造元）から天笠晒を購入して販賣する事に、中央委員會で可決され種々交涉の結果、天地印二種送つてもらひ、市價より一釜につき二十錢安にて中央委員會員の總動員にて賣捌き別記の如き結果を得ました。殘品は市價の下落に伴ひ豫定の價で賣る事が出來ませんで、割引して賣捌きました。非常の骨折の代價として ほんの僅の純益を得たに過ぎませんので、商賣知らぬ私には金の有難味をつく〴〵味ひました。

支出之部

一、七百八圓六十錢天笠晒（天百七釜　地五十五釜代金）

一、十九圓五十錢（右運賃、送料、包裝料）

合計金七百廿八圓十錢

收入之部

一、九百廿六圓十錢

天笠晒天印〔七十九釜六三〇ノ割／二十八釜五六〇ノ割〕

同　地印〔五十一釜五二〇ノ割／四釜四一〇ノ割〕

差引貳百八圓純益

（二）觀劇會について

大正十五年十月六、七兩日帝劇に於て白券席、靑券席全部を買切り、皆樣の非常の御骨折を願ひました結果を御報告致します。

收入ノ部

一、金壹萬壹千參百七拾四圓四拾錢（切符賣上總額）

一、金六拾參圓　寄附金

金五圓（潮留家）廿圓（安田保善社）金十圓（林歌子氏）二圓（宮坂氏）金三圓（星野愛子氏）三圓（川崎正子）金十圓（淑子氏）金十圓（文華高等女學校）

支出ノ部

一、金壹萬〇六百五十六圓八十錢（帝劇支拂分）

一、金七圓七十四錢（郵稅電車代）

差引純益七百七拾貳圓八拾六錢

財務委員　竹內茂代、田中芳子、河崎夏子、石本靜枝

◎會計報告

會計理事　田中芳子

先の會計理事中澤美代子氏が「天にも地にも唯一人の母」と云ひ暮されし心の杖とも柱とも思つて居られた其母君が一寸其所迄行く樣に昨年八重櫻の盛の頃御逝去になつたので、ともかく十四年度の終りから十五年度の前半は私が手さぐりの樣な狀態で會計理事代理をつとめましたが中秋の頃、中央委員を辭されたので不適任の私が會計理事にならねばならなくなりなした。會の生活費だけは會費でと思ひましたのでせつせと會員をつくり會費の整理をどん〳〵し樣と計劃しても不馴の私と吉田さん思ふ樣には中々運ばす本當に赤くなつたり靑くなつたり致しました。それでも財務の竹內茂代氏の非常な努力で多事な一ケ年も不健全ながら越す事が出來ました。ふりかへりまして感無量。別頁に一ケ年の收支一覽をお目にかけます。この數字は、總會にお目にかけたのと多少相異がありますが、この方が正しいので御座いますから、左樣御諒承願上げます（二、六、三〇、目白臺ニテ）

昭和二年度豫算概算

（一）收入　總計	五五〇〇圓
一、會費	三四〇〇圓
正會員（四〇〇人）維持會員（八〇人）會友（一〇〇人）贊助員（二〇人）	
二、事業費（催物）	二〇〇〇圓
三、寄附金	一〇〇圓
（二）支出　總計	五五〇〇圓
一、俸給（二人）	一一〇〇圓
二、事務所費（家賃其他）	一〇八〇圓
三、運動費（各委員會活動費）	二三五〇圓
四、大會費	五〇圓
五、會員婦選及マーク代	五〇〇圓
六、器具及雜費	一四〇圓
七、返濟金	二八〇圓

▼十月六日（水）午後帝劇觀劇會開催
▼十月七日（木）午後帝劇觀劇會開催
▼十月九日（土）中央委員會開催
▼十月十八日（月）夜中央委員會開催
▼十月二十九日（金）第中央委員會開催
▼十一月十五日（月）夜中央委員會開催
▼十一月十九日（金）夜中央委員會開催
▼十二月二日（木）夜中央委員會開催
▼十二月三日（金）午後出版委員會開備
▼十二月十三日（月）午後五時半より創立第二週年記念會員懇談會開備
本日より向ふ一週間會員倍加週間とす
▼十二月十四日（火）對議會委員會開催
▼十二月十五日（水）夜理事會及出版委員會開催
▼十二月十七日（金）夜政務委員會開催
▼十二月十八日（土）午後財務委員會及會員委員會開催
▼十二月廿日（月）夜中央委員會開催
▼十二月廿四日（金）午後政治學校に於ける松本君平氏招待婦選懇談會に出席
十二月三十日（木）『婦選』第一號出來

昭和二年

▼一月八日（土）午後出版委員會會員委員及理事會開催
▼一月十日（月）午後文化アパートに於いて開催の婦選團體協議會運動相談會に市川竹內金子氏出席
▼一月十二日（水）午後出版委員會開催
▼一月十七日（月）代議士招待會打合會
▼一月廿日（水）午後議　內燕樂軒に於て各婦選團體にて代議士招待會開催
▼一月二十一日（金）出版委員會及中央委員會開催
▼二月四日（金）中央委員會開催
▼二月十日（木）中央委員會開催
▼二月十八日（金）中央委員會開催
▼二月二十三日（水）全關西婦人聯合政治部長井川菊枝永田清子氏來訪、政務委員會開催
▼二月廿六日（土）夜神田靑年會館に於いて『無產政黨と婦人』講演會開催
▼三月四日（金）夜中央委員會開催
▼三月十七日（水）婦選諸案上程
▼三月十八日（金）夜中央委員會開催
▼三月廿五日（金）午後中央委員會開催
▲三月廿八日（日）夜芳幽亭にて代議士招待懇談會開催

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正十五年度 收入内譯

一、借入及立替

田中芳子氏（四九五、〇〇圓）

二、寄附金

無名氏（二〇、〇〇）日本婦人參政權協會（二〇〇、〇〇）吉田のぶ氏（〇、四〇）金子茂氏（一、〇〇）潮留母堂（一〇、〇〇）潮留眞澄氏（五、〇〇）鈴木小松氏（三、〇〇）星野錫氏（一〇、〇〇）洲脇芳枝氏及香世氏（二、〇〇）中澤美代氏（一〇、〇〇）竹内茂代氏政治讀本賣上（二八、〇〇）日本工人クラブ（一〇、〇〇）

三、利子

振替貯金利子（一、〇三）銀行預金利子（三、六九）

四、事業費

政治教育講座聽講料（四、四〇）觀劇會純益（七四八、八六）創立記念懇談會費（一七、〇〇）略賣上純益（二〇八、〇〇）總會會費（三三、五〇）

五、入會金

柳八重子氏、竹内茂代氏、鈴木さわ氏、保坂かつ氏、長瀧松代氏、河瀬けさ氏、岡部萩氏、高田ミチヨ氏、皆川セキ氏、河崎夏氏、古田とみ氏、秋山花氏、大平悦氏、關澤章氏、堀越千代氏、大江スミ氏、荒木歌鳴枝氏、岩橋しな氏、大橋豊喜氏、羽仁もと氏、無名氏、林春氏、河越松野氏、藤田光氏、田中せき氏、伊藤錦氏、山田わか氏、吉田忠氏、久萬芳氏、小林三枝氏、大森百合氏、坂本紀亥氏、村田ちゑ氏、宮崎ふみ氏、大久保音羽氏、山本たね氏、井上たみ氏、根本ふみ氏、大橋英氏、石井小夜氏、大山克氏、森崎春氏、森崎靜氏、三輪田繁氏、佐藤貞氏、江幡滿氏、横江芳江氏、櫻井ミキ氏、森マキ氏、河合芳枝氏、湧井ウメ氏、黒川道氏、長濱文江氏、湯淺千代氏、田村美根氏、森寛氏、秋山マツ氏、岩崎文江氏、小柴慶氏、奥田貞氏、水上貞氏、藤原カノ氏、深井彌生氏、大村澄氏、杉浦キヨウ氏、吉田千茂登氏、鳥守サク氏、折居留代氏、志賀みつ氏、大竹みよし氏、塚本はま氏、兒玉琴江氏片山金氏、吉岡房氏、無名氏、野村よし氏、小笠原孝氏、鈴木しづえ氏、岡田もと氏、高田はる氏、森操氏、八重樫新美氏、多川澄氏、日田富氏、井村ちゑ氏、高野溪氏、伊藤鎮氏、竹内直氏、龜井千代氏、坂口圭氏、山本杉氏、鈴野ふく氏大槻ふじ氏、加藤耐氏、傳田ちか氏、加藤勝氏、榊原かつの氏、日向てる氏、濱本まし枝氏、布野かつの氏、佐藤のぶ氏鴨井初氏、土江ちよ氏、野々村野氏、成田玉純氏、橋本倣子氏、清水喜美氏、吉岡彌生氏、木村トミ氏、山崎よね氏、嶺きく氏、中山貞氏、阿部靜枝氏、田中せき氏

六、會費

十四年度分——木内キヤウ氏、宮田育氏若本わか氏、田中エヒ氏、松本ヨシ氏、高橋いく氏、琴木ふみ氏、伊藤つね氏、丸山スイ氏、里村りつ氏、中村正氏、遠藤松枝氏、廣橋きよ氏、柳八重氏、木村田賓氏、末弘杉枝氏、阿佐夫千代氏、村山つね氏、石川キクノ氏、平島喜美井、矢崎ふさを氏、德永八千代氏、久萬加惠氏、寺島以登代氏、木下芳江氏、玉井きみ氏、野呂景氏、岡田美喜氏、伊藤キミ氏、横尾キミ氏、皆川せき氏、石本米氏、木村龜以氏、吉村千代氏、秋山花間山東タイ氏、相澤薫氏、城殿喜代氏、高倉ツネ氏、佐藤園枝氏、小寺菊氏、莊司靜氏、大原みち氏、松井キツ氏、石川フサ氏、大藤八重氏、古田とみ氏、矢島美喜氏、工藤しのぶ氏、山田田鶴氏、松下光氏、額賀きよ氏、坂部富氏、森重みのる氏、中田りつ氏、松村たか氏、鈴木菊枝氏、小林三枝氏、阿部光氏、森下ならめ氏、大山克氏、藤間あさよ氏、吉岡彌生氏、矢島ヨシ氏、小野美智氏、笠原滿幾乃氏、紺野のぶ氏、山野千枝氏、佐久間菊枝氏、佐藤園枝氏、藤井クラノ氏、市河晴子氏、阿部靜枝氏、二宮和佐氏、高橋せい氏、名出イク氏、森田松枝氏、尾白達氏、橋本たみ氏、小杉身洗氏、田丸よね氏、

十五年度分——竹内茂代氏、山川房氏、渡邊すゞ氏、大澤夏江氏、久布白落實氏田中芳氏、南美惠氏、市川房枝氏、金子茂氏、鈴木さわ氏、岡部ハギ氏、伊東きみ氏、靈原靜氏、木内キヤウ氏、ガンドレット恒氏、石本米氏、岡田京氏、矢島ヨシ氏、木村龜井氏、帆足みゆき氏、吉村千代氏、二宮和佐氏、秋山花氏、山東タイ氏、八木橋きい氏、荒木月畝氏、城殿喜代氏、足達梅子氏、吉山タミ氏、小林八重氏、高倉ツネ氏、横尾きみ氏、星野あい氏、宮坂みち氏、田中壽氏、加藤きい氏、橋爪茂氏、吉田辰氏、名出イク氏、江幡たけ氏、中ひさ氏、大橋花氏、小野美智氏、市原壽見氏、小寺菊子氏、鷲尾いく氏、井口よね氏、濱山園氏、松井キツ氏、石川フサ氏、蒲生さと氏、石川キクノ氏、玉井きみ氏、平島喜美氏、久萬加壽惠氏、横山ミネ氏、伊東キミ氏寺島以登代氏、武田貞氏、長瀧松代氏、河野けさ氏、吉武よし氏、橋本つね氏、矢野きみえ氏、春田たか氏、大藤八重氏、吉田たみ氏、堀江最中氏、大谷津うめ氏能呂景氏、淺野喜代氏、瀬日野てる氏、工藤しのぶ氏、山田田鶴氏、松村キン氏、大妻コタカ氏、藤井クラ氏、上田浪氏、堀越千代氏、中山貞氏、大江スミ氏、無名氏、羽仁もと氏、吉田忠氏、久萬芳氏田中せき氏、松下光氏、額賀きよ氏、坂部富氏、森重みのる氏、松村たか氏、中田りつ氏、鈴木菊枝氏、小林三枝氏、大森百合氏、坂本紀亥氏、宮崎ふみ氏、大久保音羽氏、久布白落實氏、小出ちか氏阿部光氏、井上たみ氏、森下ならめ氏、大山克氏、阿部鶴氏、三輪田繁氏、村田ちゑ氏、高田ミチヨ氏、佐藤貞氏、横江芳江氏、皆川せき氏、大村澄氏、森崎靜氏、森崎春氏、井村延氏、無名氏、志賀光氏、大竹みよし氏、岩橋しな氏、藤間あさよ氏、塚本はま氏、兒玉琴江氏、片山金氏、吉岡ふさ氏、無名氏、米村よし氏、小笠原孝氏、鈴木しづえ氏、高田春氏、岡田もと氏、森寛氏、杉浦キヨウ氏、石川ふさ氏、松村キツ氏、黒岩博氏岩崎交江氏、森操氏、多川澄氏、日田富氏、井村ちゑ氏、高野溪氏、竹内直氏佐藤園枝氏、橋本倣氏、山田信氏、仙津文氏、鴨井初氏、清水喜美氏、永井次氏氏、吉岡彌生氏、林歌氏、中津美代氏、森田松枝氏、萩原眞氏、橋本たみ氏、鷲尾いく氏、八田敦氏、木村よしの氏、柴田秀氏、玉井いね氏、富永のり氏、片山わかの氏、小山　氏、松井箍氏、熊谷たけ、田口清氏、若本わか氏、高橋いし氏田中エヒ氏、松本よし氏、田中幹氏、池田春氏、佐々木美枝氏、鏡淵沙河氏、本島竹、塚田ぬい、廣橋きよ氏、遠藤松枝氏、石原濤氏、小杉身洗氏、田丸よね氏、嶺きく氏、山崎よね氏、徳永八千代氏

昭和二年度——江幡みつ氏、津田梅氏、坂口圭氏、山本杉氏、馬上照氏

科目年月	收入 繰越金高	入會金高	會費	事業費	借入及立替	寄附金	利子	雜收	合計	支出 俸給	返濟金	事務所費 家賃	光熱	郵電	文房具	雜	合計	運動費	大會費	印刷費	圖書費	器具費	合計	差引殘高
大正十五年四月	八〇、〇三	五、〇〇	八八、〇〇	三三、五〇	一五、〇〇	一〇、〇〇	一、〇三	一、七三	二三四、二九	八五、〇〇	一〇、〇〇	三〇、〇〇	二、〇〇	二八、〇九	一、三八	二、四四	六三、九二	五三、四三	二六、六四	—	一、〇〇	—	二三九、九九	—
同五月	—	二、〇〇	五三、〇〇	—	一〇、〇〇	一〇、〇〇	—	五、〇〇	八〇、〇〇	三五、〇〇	四、五〇	三〇、〇〇	二、〇〇	四七、九六	四、九五	〇、三〇	八五、二一	—	—	二九、二五	七、〇〇	—	一六〇、九六	—
同六月	—	一、〇〇	二七、〇〇	—	一五八、三四	—	一、六二	一、六九	一八九、六五	三五、〇〇	二八、二八	三〇、〇〇	二、〇〇	一一、五〇	〇、三五	〇、三〇	四四、一五	—	—	—	三、〇〇	—	一一〇、四三	—
同七月	—	一、〇〇	七、〇〇	四、四〇	一五、〇〇	二二九、四〇	—	—	二五六、八〇	三五、〇〇	—	三〇、〇〇	二、〇〇	五五、六六	一二、五〇	三、六五	一〇三、八一	三三、五〇	—	—	七、〇〇	—	一七八、三一	—
同八、九月	—	二、〇〇	五九、〇〇	—	—	—	—	四、二七	六五、二七	七〇、〇〇	—	六〇、〇〇	四、〇〇	八、八六	一、四〇	一、四五	七五、七一	—	—	—	一、〇〇	—	一四六、七一	
同十月	—	二、〇〇	六四、〇〇	七四八、八六	—	—	—	〇、八五	八一五、七一	三五、〇〇	—	三〇、〇〇	二、〇〇	七、七八	〇、四八	—	四〇、二六	—	—	—	一、〇〇	—	七六、二六	—
同十一月	—	二、〇〇	二六、〇〇	—	—	二、〇〇	—	二、四三	三二、四三	三五、〇〇	—	三〇、〇〇	二、〇〇	四五、三四	二、五〇	二、九五	八二、七九	—	—	—	一〇、〇〇	—	一二七、七九	—
同十二月	—	三六、〇〇	二三〇、〇〇	八一、〇〇	一六、六六	一〇、〇〇	二、〇七	四、九〇	三八〇、六三	八五、〇〇	三〇〇、〇〇	三〇、〇〇	一〇、五〇	二八、三九	五、五二	一九、八七	九四、二八	—	三三、一四	—	六、五五	五、三五	五二四、三三	—
昭和二年一月	—	二六、〇〇	三七、〇〇	—	—	一〇、〇〇	—	〇、二七	七三、二七	八五、〇〇	—	三〇、〇〇	二、〇〇	五七、〇九	一六、四八	三、九〇	一〇九、四七	四一、三八	—	三五、七〇	三、三〇	二、七一	二七七、五六	—
同二月	—	一八、〇〇	五八、〇〇	—	五〇、〇〇	—	—	〇、三一	一二六、三一	八五、〇〇	—	三〇、〇〇	二、〇〇	三二、六六	一、五五	—	六六、二一	八二、四三	—	二、〇〇	二、八〇	—	二三八、四四	—
同三月	—	二一、〇〇	五七、〇〇	一四四、〇〇	二三〇、〇〇	二八、〇〇	—	一、〇八	四八一、〇八	九五、〇〇	—	三〇、〇〇	五、八五	一〇、〇〇	二、三八	六、三五	五四、五八	一三六、一五	—	—	四、一二	—	二八九、八五	—
合計	八〇、〇三	一一六、〇〇	七〇六、〇〇	一〇一一、七六	四九五、〇〇	二九九、四〇	四、七二	二三、五三	二七三八、四一	六八〇、〇〇	三四二、七八	三六〇、〇〇	三六、一五	三三三、三三	五八、六九	四一、一三	八一九、三八	三四六、八九	五九、八九	六六、九五	四六、四七	八、〇六	二三七〇、四二	三六八、〇一

編輯を終りて

總會後、出來るだけ早く出したいと百方苦心しましたが、何をいつても皆當面の仕事に逐はれて中々原稿が書けない上に會計の方の整理が非常に手間取り、遂にこんなに延引した事を、誠に殘念に思ひます。

新規約も載せたかつたのですが、紙面の都合で削りました。御面倒でも御參照願ひます。

昭和二年六月二十八日印刷納本
昭和二年七月一日發行
編輯印刷兼發行人　市川房枝
印刷所　芝區今入町十番地　研文社印刷所
發行所　東京市麴町區四丁目五番地　婦選獲得同盟
電話移轉中　振替東京七〇三八三番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA